

伊達な旅ガイド

Vol.175

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行
いいトコ! みやぎ
毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



9月8日 放送 唐桑～自然の脅威を体感する旅

宮城県気仙沼市にある唐桑半島は、三陸復興国立公園の南に位置し、自然の造形美が楽しめる観光スポットです。三陸沿岸は東日本大震災以前にも、大きな津波の被害を幾度も受けている場所。この半島に建つ「唐桑半島ビジターセンター 津波体験館」では、唐桑半島の美しい自然を紹介するだけでなく、展示や疑似体験を通して津波の仕組みや歴史を分かりやすく伝えています。唐桑で、津波の記録や自然の脅威に触れてみてはいかがでしょうか。



唐桑半島ビジターセンター 津波体験館 Tel.0226-32-3029

写真、映像、模型などにより、唐桑半島の美しい自然と人々の関わり、津波発生の仕組みや歴史についても紹介。津波の疑似体験ができる津波体験館を併設しています。



事務局長 小松 勇次さん

「今回の東日本大震災を教訓に、ますます重要な施設になると思っています。多くの方にここに来ていただいて、東日本大震災の映像から自然の恐さ、津波の恐さを知り、命は自分で守ることを自覚してほしいなと思っています」



展示 津波の起こるわけ

津波発生の仕組みを再現した模型装置。人工的に津波を起こし、打ち寄せる波の動きをシミュレーションしています。



職員 小松 香織さん

「東日本大震災では2波、3波が大きい波となった場所が多かったのですが、やはりこの模型でも第1波が少し小さめで、第2波、第3波目が奥までザーッと来るような波になっているのが分かります」



展示 東日本大震災(唐桑半島)

津波の様子や、震災前、震災後の地形の変化が分かるような写真を展示しています。



職員 小松 香織さん

「20メートル以上の津波が来たところでは、一つの地区がほとんど飲み込まれたような状態になってしまいました」

津波体験館

東日本大震災や過去の津波で被害を受けた唐桑地域や気仙沼市内の映像とインタビューがスクリーンに描き出されます。津波のイメージ画像に座席の振動や風が加わり、その恐ろしさを疑似体験できるようになっています。



体験した方の声

「北海道から来たから、あんまり分からなかったけど、今恐いなと思いました」



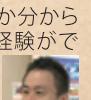
「映像と風と揺れで、津波がどう感じるのかわかったし、津波の恐ろしさが分かりました」



「振動はとても強かったです」



「また、何があるかわからないので、いい経験ができたのではないかと思います」



唐桑半島では、体験などもいろいろ行っています。ぜひお越しください。お待ちしております。

ZOOM UP

かみくらじりほま 神の倉尻浜



センターから1キロメートルほど離れた浜辺。津波の爪痕が残ります。

●東日本大震災の津波で打ち上げられた「津波石」

打ち上げられた巨石は全部で5個。センターでは津波石の見学ツアーを企画しています。

案内してくれた方

「一番大きい岩で6メートル×5メートルくらいあります。沖の海底の岩が打ち上げられてきたのです。手で触れ、津波の恐ろしさを知ることができる本当に貴重な自然の資料だと思います」